

戸越公園駅交通広場事業等の都市計画事業認可取得について

東急大井町線戸越公園駅付近では、区が事業主体の交通広場（駅前広場）事業および東京都が事業主体の連続立体交差事業（鉄道附属街路含む）が令和5年10月に都市計画決定された。

以降、事業化に向けた検討を進め、令和8年2月6日に都市計画事業認可を取得し、事業に着手した。

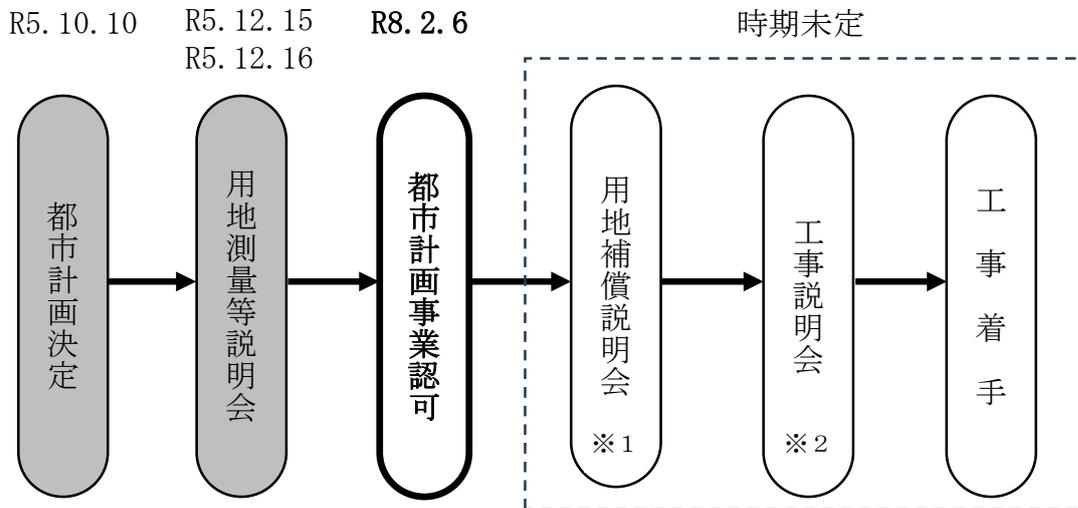
1 交通広場（駅前広場）事業の概要

別紙1参照

2 連続立体交差事業の概要

別紙2参照

3 工事着手までの予定



※1：用地補償説明会

交通広場（駅前広場）事業および連続立体交差事業の合同で開催予定

※2：工事説明会

それぞれの事業で実施予定

1. 目的

- 駅前に車両が待機できる空間がなく、交通結節機能が不足
- 歩行者空間にゆとりがなく、自転車・歩行者等の動線が重なり、交錯するおそれあり
- 待ち合わせできる憩いの空間や人々が交流できる空間が不足



駅北側に『駅前広場』を整備し、駅周辺のにぎわいの創出や利便性・安全性の向上等を図る

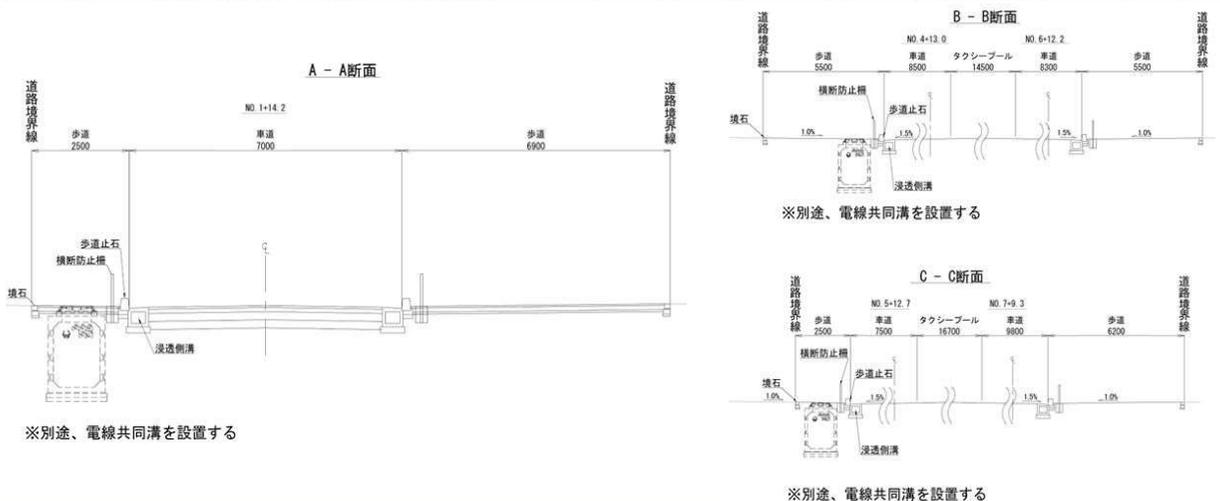
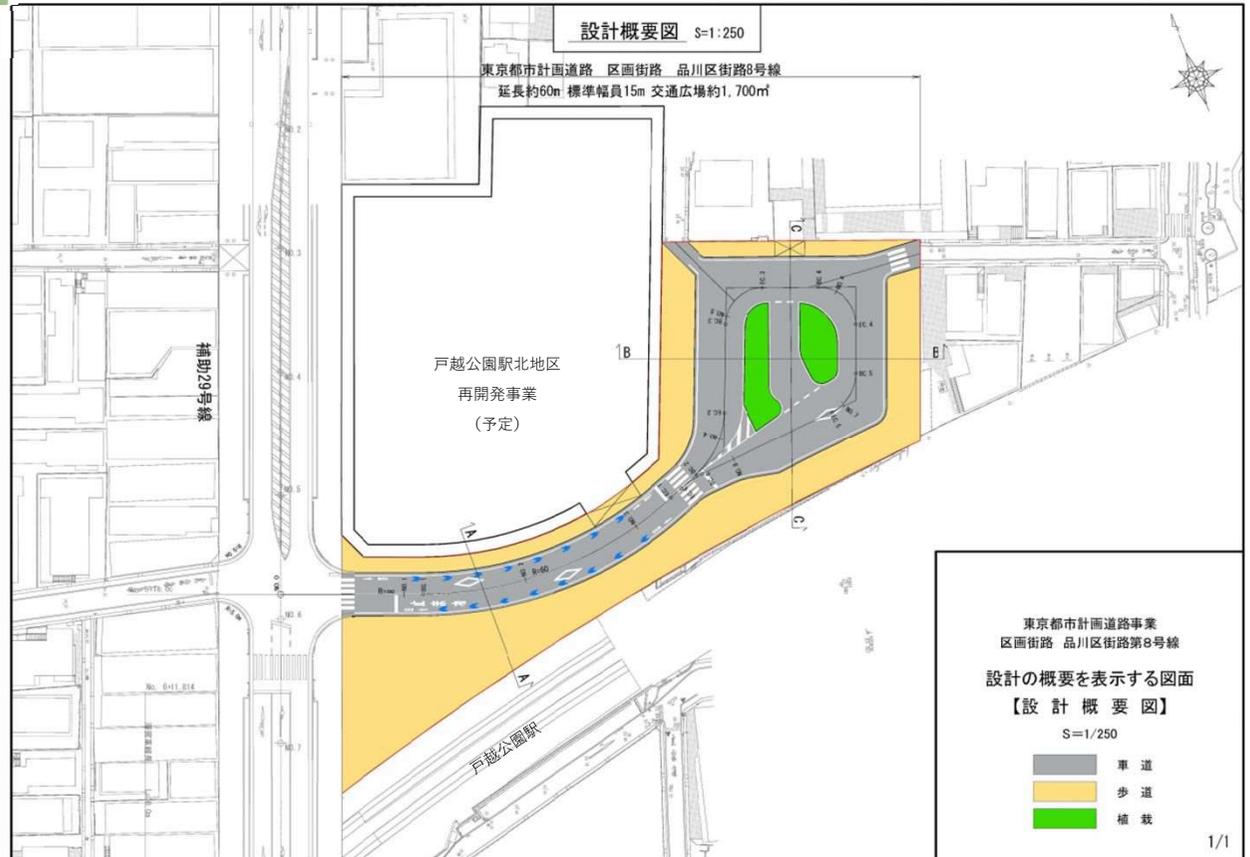
2. 事業概要

- 施行者
品川区
- 施設規模
幅員：15～42m 延長：約60m（取付道路）
面積：約3,051m²（全体）
約1,700m²（広場）
- 事業費
44億1,603万円
- 事業期間
令和8年2月6日 ～ 令和20年3月31日

3. これまでの経緯

- | | |
|----------|-----------|
| 令和 5年 2月 | 都市計画素案説明会 |
| 6月 | 都市計画案の縦覧 |
| 10月 | 都市計画決定 |
| 12月 | 用地測量等説明会 |

4. 概要図



1. 目的

- 戸越公園駅周辺には、現在、6か所の踏切が存在し、いずれもピーク時の遮断時間が40分以上の『開かずの踏切』となっている
- また、鉄道により地域が分断されているとともに、踏切内での事故発生が懸念されている

連続立体交差事業の実現により、踏切が除却され、自動車や歩行者の通行が安全かつ円滑になるとともに、分断されていた地域が一体化され、安全で快適なまちづくりが実現

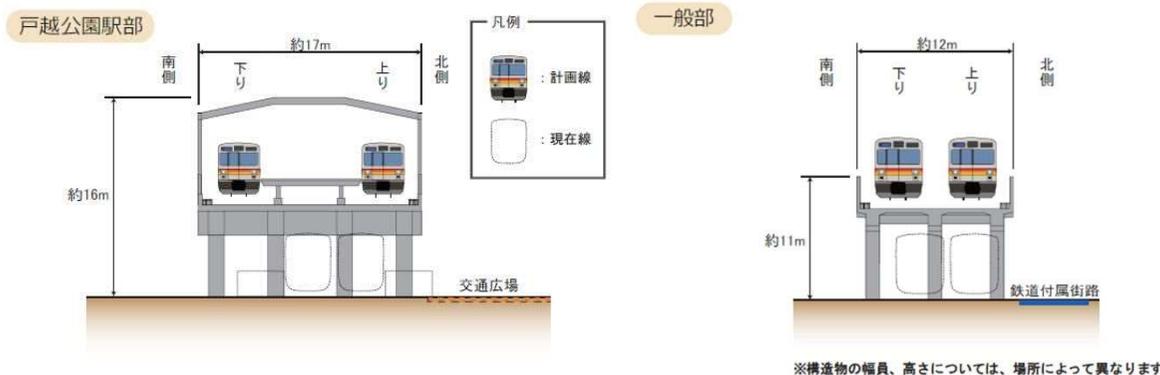
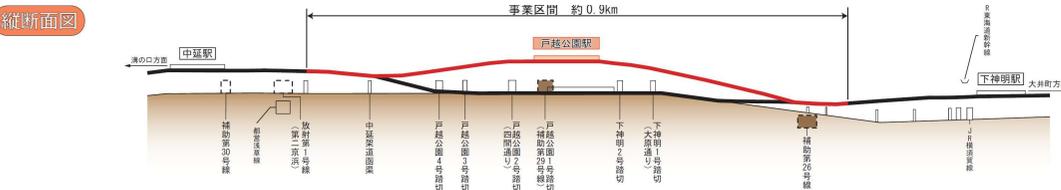
2. 事業概要

- 施行者
東京都・東急電鉄(株)・品川区
- 区間
戸越公園駅付近（豊町二丁目～戸越六丁目）
- 延長
約0.9km
- 構造形式
高架式（嵩上式）
- 事業費
約427億円
- 事業期間
令和8年2月6日～令和18年3月31日

3. これまでの経緯

- | | | |
|-------|-----|-------------|
| 平成28年 | 3月 | 事業候補区間に位置付け |
| 令和3年 | 4月 | 着工準備採択 |
| 令和5年 | 2月 | 都市計画素案説明会 |
| | 6月 | 都市計画案の縦覧 |
| | 10月 | 都市計画決定 |
| | 12月 | 用地測量等説明会 |

4. 概要図



※構造物の幅員、高さについては、場所によって異なります

| 平面図番号 | 名称 | 現況幅員 | 遮断時間 (1Hあたり/ピーク時) | 備考 |
|-------|----------|------|----------------------|---------|
| ① | 下神明1号踏切 | 7.5m | 42分 | 大原通り |
| ② | 下神明2号踏切 | 5.0m | 40分 | - |
| ③ | 戸越公園1号踏切 | 5.8m | 44分 | 補助第29号線 |
| ④ | 戸越公園2号踏切 | 9.2m | 44分 | 四間通り |
| ⑤ | 戸越公園3号踏切 | 3.2m | 42分 | - |
| ⑥ | 戸越公園4号踏切 | 5.5m | 41分 | - |

※遮断時間の数値は令和3年10月に国土省が公表した「踏切安全通行カルテ」の値